



## 大地申14号「駅業務体制の見直しについて」に関する申し入れ交渉開催 その3

### 6. VTS移管後の業務内容・作業ダイヤ・営業時間等については現行のままを基本とすること。

会社回答：業務移管後の運営体制については、移管先会社で決定することとなる。

《業務内容・作業ダイヤ・営業時間等について》

組合：移管後の業務内容・作業ダイヤ・営業時間はどうなるのか。

会社：現状の店舗運営が基本ベースになるが、VTSと連携しながら検討していく。

組合：東京支社内の店舗は営業時間が19時までになっている大宮の負担が増えるのではないかと？

会社：東京支社内の営業時間変更については認識している。営業時間について調整はしている。

組合：営業時間を変更するにはどういう要素を加味しているのか？

会社：お客さま周知が重要。みどりの窓口であれば1か月前、時刻表に掲載するには1か月半は必要。

【確認事項】

・移管後の業務内容・作業ダイヤ・営業時間については現行を基本ベースとしていく。

※交渉経過を踏まえ、後日営業時間については**19時まで**とする考えが示されました。

### 7. バックヤード等の環境の整備は職場の声を基に実施すること。また、業務スペースについては本体と移管先会社を明確に仕切る設備を整えること。

会社回答：関係箇所と調整を行い、必要な対応を行っていく考えである。

《バックヤードと執務スペースの環境整備について》

組合：本体とVTSでスペースは分けるのか。

会社：長く使用する執務スペースや休憩室は分ける方向で検討しているが、壁を壊すなどの工事は無い。更衣室やトイレは変えない考えでいる。社員の導線を見ながら進めていく。交渉を踏まえ正式な図面を書いていく。

組合：移管に向けての棚卸しで休業日は設けるのか。

会社：他支社での店舗移管の実績をとらまえながら検討していく。決定次第、お知らせする。

【確認事項】

・店舗移管に向けての休業については決定次第窓口で返していく。

※交渉経過を踏まえ、後日**移管前日は店舗を休業する**考えが示されました。また、変更後のレイアウトについても示されました。

### 8. 移管に伴い移管先用の入出金機を新規に設置すること。また、移管後の帳票類の整理や保管、備品管理の変更点については関係社員に十分に周知すること。

会社回答：移管に伴い現金入出金機を新設する考えはない。また移管に伴う変更点等については、関係社員へ周知していく考えである

《入出金機新設・備品管理について》

組合：移管後は収入金等の管理は分ける為に入出金機を新設するべきだ。

会社：新設する考えはない。会社が変わる事でも問題はない。

組合：本体とグループ会社のお金は違う。リスク管理は必要だ。明確に分けないと取り扱い誤りが発生するのではないかと。

会社：お金は現金管理機で管理が出来ており、精査した後なので問題ない。

組合：赤箱や備品の管理はどうしていくのか？

会社：VTSで必要なものはVTSで本体で事足りるものはJRで管理していく。

【確認事項】

・移管後も駅の分任の負担は変わらない。

・帳票類の保管場所は調整していく。